

## 令和2年度 第3回南部町総合教育会議 議事録

- 1 開催日時 令和3年3月2日（火） 午前10時00分 開会  
午前12時00分 閉会
- 2 開催場所 南部町役場本庁舎 2階 大会議室
- 3 出席者  
・町長 佐野 和広          ・教育長 芦澤 和彦          ・教育長職務代理者 河内 留美  
・教育委員 佐野 保仁      ・教育委員 入月 一巳      ・教育委員 山本 純司
- 4 事務局等の出席者  
町長部局 秘書政策監 望月 一弥、 総務課長 滝 基成  
教育委員会事務局 学校教育課長 渡辺 雄治、 生涯学習課長 近藤 利也
- 5 協議事項  
(1) 今後の南部町の教育施策について  
(2) 読書活動の推進  
(3) 「コロナ収束」と新しい生活様式の徹底  
(4) その他
- 6 議事経過の概要  
次のとおり

### 1 開 会 （河内教育長職務代理者）

おはようございます。早いもので第3回目を迎えました。今回も多くの議題がありますが、十分な議論ができますようお願いいたします。それでは開会いたします。

### 2 町長あいさつ

おはようございます。やっと春らしくなりました。

今年度最後の総合教育会議となりますが、この教育会議がスタートして6年が経過しようとしております。最初は渡辺教育長、そして今は芦澤教育長となりますが、非常に良い形でこの会議が進んでまいりました。それまでは教育に関するどのような大きな問題があるのか、私はなかなか把握できませんでしたが、総合教育会議を始めてから町が抱えている色々な問題等を知るに付け、これはもう少し力を入れなくてはいけないなという思いがしました。

ここにいます先生方にもお世話になっていますが、皆さんご存知のように、県下で初めて不登校の子どもたちへの支援、それから学力が劣っている子どもたちへの支援ということで教育支援センターを上げました。これは県の教育委員会からも非常にお褒めの言葉をいただきました。多分今は、どこでもやり始めていますが、その走りだと思います。このような様々な声も、この教育会議からスタートして今の状態になりました。

前から言いますように、この南部町自体が大きな観光地ではありません。何を売りにするのか、どこにも長年の歴史はありますが、本町も他町に負けないような立派な歴史、文化があります。そういったものを進めるということで私の政策の柱の一つとして、ずっと押し進んでまいりました。

私が就任し、早いもので、丁度10年が立ちました。その時は震災でした。間もなくその時

を迎えます。昨日もテレビで、大変悲惨な思いをされた方たちが、今でも一生懸命生きていらっしゃる姿を見まして、胸が熱くなりました。そんな時に私は就任しましたので、どうしても防災には力をいれてまいりました。これまでも様々なことがありましたが、一番大きかったのは雪の時でした。ここにいる政策監が一生懸命対応し、何とか乗り切ったという思いがあります。このことが機になり、職員或いは町民の皆さんが防災に対する意識が深まったのではないかと考えています。

話が飛び飛びになりますが、先ほど申し上げましたように、今年10年を迎え、新たな気持ちで残りの任期を全うするわけですが、ご存知のとおり今はコロナの時代で、なかなか思うようなことはできません。しかし、そうばかり言ってもいられませんので、それを踏まえた中で、町を回していかなければなりません。

その中で今年のご存知のように、中野地区に巨大な物流倉庫が建設されています。まだ全体像は見えませんが今の段階でも相当な形で出来ています。そこには雇用が生まれます。また、今日も新々富士川橋のことが載っていました。岩本山に向かう東側方面は、既に橋脚が完成し、更に上部工が出来ています。今日のニュースでは、巨大クレーンを子供たちが見学するという映像が流れていました。あと2年で完成しますから、いよいよ私が理想としていた交通、アクセスが良くなります。中部横断自動車道も遅れてはいますが、年内には間違いなく開通いたします。そうしますと、この南部町は非常に面白い場所になってくるのではないかと考えています。

最近、私の下には、いくつか面白い話もあります。こちらに家族で移住したいという声や、土地があれば物流倉庫を造りたいという声も聞こえてきています。このような地の利と言いますか、段々良くなってきた中で、後はここへ定住化、住んで良かったと思える、そんな町づくりを最終的にはしたいです。そのためには、先ほど言ったように新々富士川橋ができることによって、当然こちらから通う方も出てきます。また、アクセスが良いからと言って戻って来る方もいるでしょう。

そして、若い人たちにとって子育ては非常に大事です。そのために私は、今年、4億円近く掛かりますが補助金も貰えますので、アルカディアへ大きな多目的広場を造ります。ここには遊具も備え、多目的な芝生広場等を造りますので、大変面白い形になると思います。維持費は掛かりますが、それ以上に大きな賑わいを創設してくれると思います。このことは私が1月の年頭にも書きましたが、スポーツと文化と歴史、これが一つにまとまった聖地になります。アルカディア全体がそういう構想を持っているから、それに近づけるのではないかと考えております。今年メイン事業ですので、広場建設に全力投球をいたします。私が理想とすべき町づくりが、少しずつ進んでいるのではないかと考えています。

南部町は、山間地ではありますが、様々なものの要素が含まれている地域だと思っています。この間2月23日、富士山の日がございました。山梨・静岡、両県の知事と富士山を囲む市町村長、更に両県の議会議員、およそ120名の会合がありました。主催者である川勝知事が冒頭に、南部町のことを大々的に話してくれました。皆さんご承知のように「バイ・ふじのくに」ということで、両県の交流が盛んです。静岡の海産物、山梨の果物ということで、更にそれを推し進めようというお話をされました。その中で、8月に私と長崎知事と3人で、奥山温泉でお風呂に入りながら色々な話をしたことを大々的に言ってくれました。その後中銀の頭取も見えて、分庁舎に中銀が入るお礼を兼ねての話でしたが、中銀も静岡と山梨の

繋がりを重視しているので、南部町には大いに期待しています。というような話がありました。それが全て良いわけではありませんが、かなり知名度が上がってくると思いますし、それだけのポテンシャルのある町であるという思いがしております。

話は尽きませんが、この後の会議の中で、皆さんからの質問等がありましたら、また、私から皆さんに聞きたいことも出てくるかもしれません。その時はまた色々な話をしながら、芦澤教育長最後の総合教育会議でもあります。華々しい会合になれば良いと思っております。本日は、よろしくお願い致します。

### 3 教育長あいさつ

今日の雨が終わると芽吹く時期になるかと思えます。丁度1年前、皆さんご存知のように国から学校の臨時休業の要請が出まして、本町はどう対処していくか協議し、他市町村では即ち休業に入ったところもありますが、本町では1日おいて、4日の午後からということで、準備時間を十分に取ながら休業に入ったことを覚えています。いずれにしても、子どもたちの安心安全を優先した結果だと思っています。そのような思いで1年経ち、様々な学校教育の推進、行事の推進等、町長さんをはじめ役場関係の皆さんには後押しをしていただいて、今日まで何とか事無きというとおかしいのですが、何とか順調に進んでいる中で、明後日には富沢小学校の校旗の伝達式があります。1年間、コロナ、コロナで明け暮れた感じがします。それでも子どもたちはその間、元気にやっています。

今後、色々な考え方はあるのですが、予防接種の関係で危機感を余計に持っている方もいれば、若干の甘い認識を持っている方もいます。まだまだ、With コロナ、また、ポストコロナを見通す中で厳しい視点でやっていきたいと思えます。

教育の有り様も色々言われています。いわゆるデジタル化、それぞれが今まで行ってきたことをバランス良く行っていかなければならない時代になってきました。この後、3つの議題に絞り、協議させていただきます。様々なご意見等をいただければありがたいと思えます。最終的な落としどころを作っているという会議ではありません。それぞれにプラスになれば良いと思っております。限られた時間ですが、よろしくお願いしたいと思います。

## 4 議事（進行：教育長）

### (1) 今後の南部町の施策について

事務局より、旧富沢中学校の改修計画及びアルカディア総合公園の多目的広場建設事業に関する昨年度から本日までの取り組み状況及び今後の計画や現在の進捗状況等についての説明があり、その中で旧富中校舎には、1階に富沢図書館、放課後児童保育、火祭り太鼓の保管機能を、2階に教育支援センターが建設される説明等を受けました。

(教育長) 中学校が統合されて、丁度9年が経ちます。今、富河中学校の跡地利用について説明をしていただきました。町としても、以前から懸案でありました富沢図書館の問題について、最終的にはこちらにも置かなければならないと判断し、各課が創意を持って今のような形になっていると思えます。

今後、万沢小学校の跡地問題も出てきますし、何年かすると睦合・栄の統合があった時に、またどちらかの校舎をどのように活用すれば好いのだろうと出てきます。現時点

で富中の跡地利用につきまして質問等があれば、また、町の活性化等の話でもしていただければありがたいと思います。

(佐野委員) 富中へ図書館が移動して色々な施設ができますが、一番有難いのは建物の前を整備したことにより、駐車スペースが多くなりました。今までの図書館では、狭い部分がありましたのでその点は非常に有難いと思っています。完成をすごく楽しみにしています。その中で聞きたいのですが、今使っている富小の敷地内にある児童館の今後の利用方法は。

(事務局) 子育て支援課に確認したところ、富河児童館自体の機能はそのまま残るそうです。ただ、その中の放課後児童保育を旧富河中学校に移して実施をします。ただ、万沢児童館については、今後閉鎖となるそうです。

(山本委員) 結論から言えばすごく良いことだと思います。先ほど町長さんの話の中に、スポーツ、文化を通じての町づくりということがありましたが、教育等は集中する方法もあるかもしれませんが、ある程度拠点を分散した方が良い場合があります。地域にはそれぞれの文化がありますから、その主な所に拠点が分けられることは良いことだと思いますし、小さい町ですが図書館が2つある。そして、学校が付随している。そこに行政もある。というところでネットワーク化し易いです。今 ICT が進みネットワークが進んでいますが、アナログの人間にとっては、そこへ出掛けると色々なものがあるということは、とても大事なことだと思います。学校からは声が聞こえ、その放課後は児童保育から、又は、そこへ行くと子どもたちが活動している様子が見られたり、本を借りたり、ということもできるので、とても良い拠点になっていくのではないかと思います。

万沢については、旧万沢小校舎は非常に貴重な校舎だと思います。木造の建物という非常に付加価値の高い建物で、今後、校舎をどのように活用していくのかということは非常に難しいと思いますが、ある面で言えば、何かが入って来て、交流の場にもなるものが出来れば良いと思います。

旧富中校舎の利活用の方向的には素晴らしいと思います。ちなみに、この施設の名称はどのような名称でしょうか。

(事務局) 名称につきましては、まだ決定しておりません。

(山本委員) 多目的広場については、公園化していると小さいお子さんを連れてお母さんたちは集まり易いです。暖かい陽だまりで和気あいあいと、小さい子どもが遊ぶ姿は非常に良いと思います。そうすると本町に移住してみたい、又は興味がある方にとって、このような場所もあることを紹介し易いのではないかと思います。

(教育長) 将来像として、一つの売りになるかと思っています。万沢地区もあそこに行けば行政の窓口もあるし、医療も受けられる。尚且つ、交流の場もあるというようなことは自分勝手に描けますが、現実には難しいことで、ただ今のように意見をいただければ将来構想の一つのヒントになります。

(入月委員) 今、話に出た万沢で考えると、今の支所の所が地域の人たちが気軽に集まり、本を読んだり話をしたりとか、そのような場所になると良いなと個人的には思います。

万沢児童館の件ですが私は万沢小学校にときどき行きますが、少ないが利用されています。もう無くなるということですね。

(事務局) 万沢児童館については、子育て支援課の方でご利用いただいている方々に話を

され、ご理解をいただいている中で閉めさせていただくということです。今後の利用方法については、検討していかなければならないと思っています。

(町長) 町づくりの中で私が考えているのは、移住希望者たちが一番心配していることは、近くに病院があること。これは必須条件だそうです。本町には医療センターと万沢診療所があり、小さな町では多いかもしれませんが極力残したいと思っています。また、小学校も本来ならば統廃合して一つにしても良いと思っていますが、旧南部、旧富沢で一つずつあることによって、お互いに何とかしようという機運を盛り上げていただきたいと思っています。

話は変わりますが、富士、富士宮、静岡に対するアクセスが良くなりました。今後、どのように変わるかわかりません。面白みが出てくると思っています。そのためには、今しばらく辛抱して、その様子を見ながら最終的な決断を下そうと思っています。

(入月委員) 新しい施設が完成し、その移行の際の繋がりを心配しています。図書館は再開準備に一旦閉館するという事なので心配はしていません。問題は教育支援センターで子供たちが利用しています。今度の土曜日にも未来塾があります。未来塾は農村改善センターで行っていますが、同センターも他の関係工事が入っています。そうすると未来塾はどうなるのか。教育支援センターの移行の際は、少し気になります。

(事務局) 未来塾を旧富中内で行うという意味ではありません。あくまでも総合会館中の教育支援センターを移行するだけで、未来塾の会場は今まで通り、農村改善センターを利用いたしますが、場合によっては、旧富中校舎の2階の教室は、そのままの形状で残りますので、使用することも可能です。

(入月委員) 南部地区は大丈夫ですか。

(事務局) 総合会館は、来年度中は使用可能です。その後、解体となれば分庁舎の2階を会議室等に改築する計画です。

(山本委員) 新しい施設は管理上、何処が管理していきますか。図書館には図書館司書等がありますが、結構広く、入っていけば2階、3階へも行くことも出来ますが。

(事務局) 正面玄関から入ると、1階のフロアしか通常は行くことができないようになります。教育支援センターを利用する方については、裏の出入口を使ってもらい2階に行く想定をしております。不登校のお子さんたちが利用する際も、正面玄関からは入り難いというケースがありますので、裏の出入口を使い、他の人と接しないような状況を考えました。

維持管理に関しましては、図書館はセキュリティが必要になりますので、図書館の内部だけのセキュリティを入口に付けさせてもらい図書館職員が行います。教育支援センターや放課後児童保育の先生方については、セキュリティが無いので、建物全体的な維持管理となりますと図書館が担うのではないかと想定しております。また、維持管理等に関する予算関係も同じです。

図書館以外の部分の使用方法になりますが、旧校長室を視聴覚室の機能を持たせた部屋に改修し、図書館と放課後児童保育が連携した事業ができる場とします。例えば、図書館ボランティアの読み聞かせやDVDを使つての視聴等、放課後児童保育と図書館が連携した事業を子どもたちに対して進めていきたいと思っています。

(教育長) 事務局で説明があったように各課が横断的にしていかなければなりません。そ

のようにして少しでも良い町づくりになればと思います。

また、町の人口からすると、60 から 80 代の大人が子どもたちに係わっていくことがこれからの時代です。そのような方々に広報活動をし、参加していただきながら色々な事を行っていければと思います。

(山本委員) そうですね。リタイヤした人たちは、ある種の人的資源だと思います。そのような方々に協力をしていただいて、色々な諸活動に係わってもらえると、やる事があるということは人間にとってすごくモチベーションが上がります。また、そのような人たちが色々関わってくると、活性化するのではないかと思います。

## (2) 読書活動の推進

(町 長) 本町のような小さい町に図書館が二つもあるところは、なかなかないと思います。また、美術館等のアルカディア施設があること自体が、本当に画期的なことだと思います。

(山本委員) 歴史的にここは街道筋であり、人通りが多かったということで情報が行き交っていました。その情報が行き交うことで、ここに住んでいる人たちの情報への文化意識が非常に高かまっていたことで、もともと文化の素養があったのではないかと思います。図書館に興味がある歴史というものに、今でも結びついているのではないかと思います。今後も分断されないように継続をしていく町づくりは、全体的に必要なだと思います。

先日、教育委員会の中で「子ども読書活動推進計画」の素案を見せていただきました。子どもの読書量を上げていくためには、大人の読書の活用実態なども踏まえながら、子どもだけではなく町民全体で読書量が増えていくような、総合学習を広げる計画作りをしていくと良くなると個人的に思いました。

(教育長) 学校に図書館司書を 1 人置くだけで、子どもの読書環境も大変違います。そういう点で本町は、他所から見れば羨ましがられています。

また、「子ども読書活動推進計画」については、図書館の館長が中心となり、現在策定中ですので、次の定例教育委員会でお諮りしたいと考えています。

(山本委員) 推進計画は、図書館を中心に行っていく事業等を具体的に明記してあります。子育て支援、福祉保健の両課と連携して既に取り組んでいる事業もあり、目を見て初めて図書館、子育て、福祉との連携がわかった事業もあり、計画として良いと思います。

(町 長) 旧富河中に図書館の他、子育て等の機能もできますので、興味を持ってもらい盛り上げる絶好のチャンスだと思っています。

最近、私はまた本を読み出しました。今、読んでいる作者の方は日本の歴史が変わるようなことまで言っていますので、次から次へと興味を示し、既に 4、5 冊を読みました。この面白みがわかってくると皆さんも活用してくれるのではないかと思います。

(教育長) 町内には 2 つの図書館がありますので、色々な所と連携をしながら運営していくことが非常に大事なことになります。今、館長が利用の仕方等も色々と考えていますので皆さんでバックアップしながらいきたいと思っています。今は、図書館の本を学校で利用するサービスも行っております。

(町 長) 図書館の本購入へは、毎年沢山の予算を懸けています。是非、利活用していただきたい。しかも、今ではシステムが繋がっていて、県内の図書館にある本は、探して

取り寄せることもできます。

(佐野委員) 読書しない大人を如何に読ませていくか。非常に難しいことです。今の小学生は非常に読書率が高いということなので、読書週間のときには親子で読むことを学校でも、図書館でも推奨していく必要があると思います。

この間、塾の先生と話をすると、今は高校入試、学力テスト等、昔の読み書きでは駄目で、塾で力を入れているのは、読書させることを行っているそうです。今は、記述式や思考力を問う問題になってきているので、思考力等がない子は塾へ来ても伸びないそうです。南部町の子どもたちは一生懸命読書をしているので、このまま続けて欲しいと思います。例えば、中学校で忙しくなったときに読書が減っても、読書をしていた子どもは大人になって時間に余裕ができれば、本を読んで自分の世界を広げていくことができます。学校司書さんは一生懸命取り組んでくれているので、これからも応援していきたいと思います。

### (3) 「コロナ収束」と新しい生活様式の徹底

(佐野委員) テレビで緊急事態が解除された件もありますが、その人たちが言っていることは、「解除はされるが今までと同じような生活をしていかなければいけないだろう」と言っているとおり、教育委員会がこの話題にしたとき、本町ではどう対処していくべきか考えました。やはり今までと同じようにしていかなければならないだろうと思います。学校も子どもたちに手洗い、うがい、マスク、消毒、不必要な外出は避けることを子どもに訴え掛ければ、家に帰っても言ってくれるので、大人たちも不必要な外出はしないと思います。それでは経済が回らないと言われれば、何とも言えませんが、とにかく南部町からコロナに罹る方を少しでも減らすためには、今までと同じようなことを、気を緩めず徹底していくのが良いのではと個人的に思います。

(町 長) 今まで取り組んできたマスク、手洗い、体温を計る等、今では当たり前となり慣れてきました。違和感はありません。今までの生活様式を継続することと学校との絡みですが、子どもたちの声は大人に効きます。

(河内委員) 家庭内でも手洗いと消毒は徹底しています。ただ、子どもたちは出掛けたがります。今まで普通に、自由に出掛けられたものが、出掛けられなくなりました。出掛ける時は、なるべく人混みの時間帯を避ける。人が多いようだと言われれば、子どもを説得し、短時間に済ませて帰るといったようなことをしています。

(教育長) 小中学校も、これから年度末、そして年度初めと1年間色々な行事の中で、またそれぞれ連携しながら、より安全な方向でいきたいと思います。

(町 長) 町とすれば、ワクチンが何時入ってくるのかという問題もありますが、極力、皆さんにワクチン接種をお願いするしかありません。接種できれば必ず収束はしていきます。もうしばらくの辛抱だと思います。

(教育長) 副作用も私たちが考えていたよりも少ないようです。今、皆さんが話されたように、今まで行ってきたことを今後も地道に行っていくという確認をして、この議題は閉じたいと思います。

#### (4) その他

(山本委員) 南部中学校の学校運営協議会に携わって7年目になりますが、毎年4回目はまとめの会で、常葉大学の先生にご指導助言を受けています。南部中学校、また南部町については、運営協議会が非常にスムーズに行われており、また、今年度からは小学校にも反映したということで、先生は静岡県のアドバイザーにもなっておられますが、静岡県内の各校にも、南部町、南部中学校の話はずっとしていますとアピールしていますという話で、実際に南部中学校へ静岡県の中学校が見に来るという状況でした。では何が良いのかというと、地域の人と学校が学校の情報や子どもについて、すごく語り合っている、そのことが運営協議会の良さであり、色々なものが生まれてきている。例えば、学校支援ボランティアとか挨拶運動のこととか、日々に関わり合いがあることが話題になっており、学校側と保護者の方が連携しながら発表することは非常に良いという事でした。今後の在り方については、私個人もある程度、限界が来ていると思いますが、ただ、地域の人学校という中に入り、授業を見たり、子どもの活動を見たり、そのことについて意見を言えるという場があることは、とても良いことだと思います。

(入月委員) 私も常々感じていて、南部中でこれだけ上手く行っているのだから、その良さを小学校に反映できないかと思っています。例えば、地域学校支援ボランティアがありますが、それを学校ごとにこんなボランティアが欲しいと、それを一覧表にまとめ各学校をよく知ってもらおう。学校に足を運んでもらうことです。このようなことを行っている学校が南部中です。同校には学校行事を見学できる見学ボランティアがあります。私は登録してあるので、何かあれば連絡が来ます。連絡があるから行く気になる。行くから学校の様子もわかる。そんな感じで南部中では行って来ているので、すごく良いと思っています。それが小学校に反映していければ、地域の人々の生きがい作りになって、地域全体が生涯学習の町づくりに繋がっていくと思います。

(山本委員) 今の学校の方向性は、授業の開放週間を求めています。基本は見たいという希望があれば何時でも構わないという姿勢です。小学校でも運動会は、昔は地域絡み、家族絡みで来ていましたが、段々人が少なくなってきました。学校からも地域に回覧板が使えるので、運動会のPRをしていますし、また、違ったアピールをして大勢の方に子どもたちの活動を少しでも見てもらい、子どもたちの力はすごいと感心してもらえるよう多くの方が来てくれればありがたいと思います。

(町長) 冒頭申し上げましたとおり、本当にいい総合教育会議を6年間続けさせていただきました。来年度からまたスタートしますが、引き続きこの良さを保っていただきたいと思います。

#### 5 閉会 (佐野委員)

大変ご苦勞様でした。

コロナで揺れた1年でしたが、昨日は高校の卒業式、そしてこの後、中学校、小学校の卒業式を迎え、子どもたちが希望を持って未来に進んでいけるよう、今後とも皆様のご協力をよろしく申し上げます。以上で、第3回総合教育会議を終わりにしたいと思います。大変ご苦勞様でした。